

「親になる 準備期の学習」 推進事業

県立学校で実施
する学習活動を
支援します！

本事業活用校（R4～）

三原東、佐伯、吉田、向原、賀茂、
沼南、日影館、黒瀬、豊田、
広島工業、福山工業、西条農業、
庄原実業、戸手、総合技術 等
多くの学校で御活用いただいています！

学習の様子を
一部御紹介！



準備期の学習

検索



例えば・・・

● 体験活動

乳幼児との触れ合い体験、妊婦体験、
読み聞かせ体験 等



● 講話

幼稚園教諭、保育士、保健師、助産師、医師、
大学教授等による、子供を産み育てることや子供と関わる
力を身に付けるなど親の役割を学ぶ内容の講話 等

● 講座

「親の力」をまなびあう学習プログラム（親プロ） 等

経費（謝金・旅費）を支援します！

授業や特別活動等で実施する学習活動で、**外部講師の
活用に係る講師の謝金と旅費を支援**します。

講師や実施内容等の情報を提供します！

幼稚園教諭、保育士、保健師、助産師、医師、大学教授、
子育て世代包括支援センター職員、「親プロ」ファシリテーター、
乳幼児との触れ合い体験を提供する団体など、
講師や実施内容を御紹介します。

活用校の
生徒さんの
声

乳幼児との触れ合い体験



助産師による講義と
赤ちゃん人形を使った実習



- ・赤ちゃんってこんなに温かいんだと思った。
- ・妊娠中の話や子育ての話などたくさん聞けて、子育てをするのが、とても楽しみになりました。
- ・子供の誕生は奇跡的なことだと分かり、これからは赤ちゃんや子供はもちろん、周りの友達など一人一人の命を大切にしたいと改めて思った。
- ・自分も親になる身として出産には立ち会いたいと思った。出産の辛さは味わえないけれど、そばにいて見守ってあげたいと感じた。子育ての知識をしっかりと学んで子供を大切に育てていきたい。
- ・赤ちゃんに会って、抱っこできたことが本当に嬉しかった。
- ・自分の親がどれだけ頑張って自分を生んだか改めて分かった。親に感謝しようと思った。
- ・赤ちゃんの抱っこ体験などができて、より子育てのことについて知ることができた。命に責任を持てるような大人になりたいと思った。

活用校の
先生の声

生徒が体験をしている様子を見て、普段の学校生活で見ている顔とは違う姿を知り、新たな一面に気がつく機会になった。

「親になる準備期の学習」推進事業 Q&A

Q1. 「親になる準備期の学習」とは何ですか。

A1. 将来、親になる、また、子育てを支える地域の一員として、子供を産み育てることの意義や、親や家族の役割、子供との関わり方を学ぶ機会のことです。

Q2. 何を支援してもらえるのでしょうか。

A2. 授業や特別活動で次の学習活動を行うため、外部人材を活用する**経費（謝金・旅費）相当額を予算措置**します。

- ・乳幼児との触れ合いや妊婦体験、赤ちゃん人形を使った実習などの実践的な活動
- ・子供を産み育てることや子供と関わる力を身に付けること、命の重さなどを学ぶ講演
- ・「親の力」を学びあう学習プログラム

また、必要があれば、講師や実施内容、触れ合い体験が実施可能な幼稚園・保育施設の**情報を提供**します。

Q3. 部活動や希望者のみ参加するものも対象となりますか。

A3. 本事業は、授業や特別活動として実施するものを対象としておりますが、部活動や課外活動で実施される場合は、ご相談ください。

Q4. 時間数や人数の制限はありますか。

A4. 時間は、1 授業（活動）当たり 2 時間程度を目安に、実施に必要な時間数（打ち合わせが必要な場合は含む）としています。人数は特に決まりを設けていませんので、ご相談ください。

Q5. クラスごとに実施した場合も、対象となりますか。

A5 クラスごとに実施し、**実施日が複数日にわたる場合も、全て支援対象**となります。

Q6. 手続きが煩雑なのではないですか。

A6. 予算措置のために必要な情報として、目的、内容、必要経費などを記入した「実施計画書」を事前にご提出いただきます。実施後にご提出いただく「実施報告書」もほぼ同じ内容です。

なお、学習の様子を県教育委員会ホームページで紹介させていただく場合がありますので、写真や生徒の感想などの提供へのご協力をお願いします。

〔イメージ〕 令和〇年度「親になる準備期の学習」実施計画書（兼予算要求書）

教科等の名称	対象学年	対象生徒数	実施時期	実施時間	目的	内容	講師役職	講師名	予算要求額		旅費
									報價費		
									単価 × 時間 × 人数 = 金額		
1	家庭基礎	1	40	10月頃	1.5時間	助産師による講義と実技指導により、新生児の扱い方について、知識と技術を身に付ける。	新生児の養護（抱っこ、授乳、おむつ交換、もく浴等）	広島県助産師会	●● ○○ ○○	4,600 × 2 × 2 = 18,400	1,830
2	家庭基礎	1	40	10月頃	1.5時間	助産師による講義と実技指導により、新生児の扱い方について、知識と技術を身に付ける。	新生児の養護（抱っこ、授乳、おむつ交換、もく浴等）	広島県助産師会	●● ○○ ○○	4,600 × 2 × 2 = 18,400	1,830

Q7. 講師や活動内容の相談にのっていただけますか。

A7. もちろんです。お気軽に乳幼児教育支援センター（Tel 082-513-5013）までご連絡ください。

Q8. 事業の流れを教えてください。

- A8. ① 各学校から乳幼児教育支援センターに「実施計画書（兼予算要求書）」を提出。
 ② 乳幼児教育支援センターで、内容を審査・予算措置額を決定し、予算令達。
 ③ 各学校で事業（学習活動）実施。**※講師への謝金・旅費の支払いは各学校で行っていただきます。**
 ④ 事業実施後、30日以内に学校から乳幼児教育支援センターに「実施報告書（兼決算報告）」を提出。